

①戦略重点事業

緊急かつ横断的な課題の解決に向けて重点的に取り組みます。

▷子どもを伸ばす教育 **2,150万円**

発達障害の児童の特別支援などを行う教育支援員や子どもの読書活動の指導などを行う図書館司書、複式学級への対応などを行う非常勤講師を増員します。また、生徒の問題行動の指導や幼稚園の指導充実などを行う新たな指導員の配置や、小学校高学年と中学生を対象に学力調査を実施します。

▷ごみ30%減量 **2,348万円**

資源ごみ回収団体や生ごみ処理機購入者への助成制度を拡充するとともに、市内で排出されるごみの30%減量に向けた啓発事業を実施します。

▷地域内で人、モノ、金が循環する仕組みづくり **5,643万円**

市民意識や地域の実情に即して、自ら企画立案し、自主的、自発的に行う公益的な活動に対して助成する公募型の市民活動応援補助制度を設けます。また、応援寄附制度の積極的な啓発を行います。

▷定住促進 **3,005万円**

販売補助制度を設けるなど販売体制を強化し、オーリーブ団地牛窓をはじめとする分譲団地の販売促進を行います。

②合併に伴う主な施策

総合計画および新市建設計画に基づきながら、将来の公債費負担など財政状況を鑑み、優先度を検討して推進していきます。これらの事業は、財政的に有利な合併特例債などを活用しています。

▷市道南北線新設事業 **3億8,443万円**

平成18年度から地域連携軸として市道南北線の整備を進めており、平成22年度末に全線供用開始の予定です。

▷学校教育施設耐震化整備事業 **1,287万円**

平成20年度から24年度にかけて、緊急性を要する建物から計画的に耐震補強を実施します。今年度は裳掛小学校校舎などの耐震補強工事に伴う実施設計を行います。

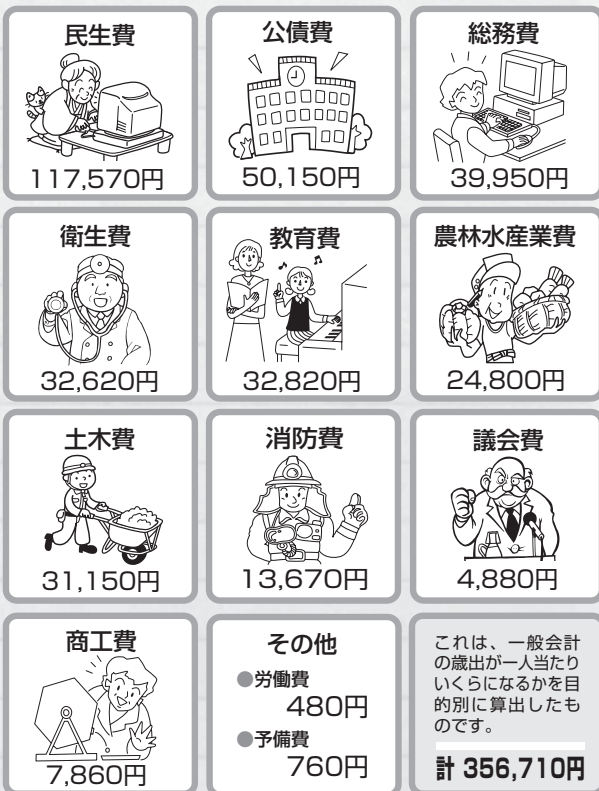
予算額一覧

(単位：万円)

一般会計	1,404,249
特別会計	1,044,865
国民健康保険	389,731
国民健康保険診療施設裳掛診療所	3,652
国民健康保険診療施設美和診療所	2,117
介護保険	330,611
老人保健	1,700
後期高齢者医療	50,270
農業集落排水事業	25,545
漁業集落排水事業	3,206
下水道事業	230,962
土地開発事業	6,561
公共用地先行取得事業	510
事業会計	312,754
病院事業	125,703
水道事業	187,051

市民1人当たりの主な予算

H22. 4. 1現在人口 39,367人

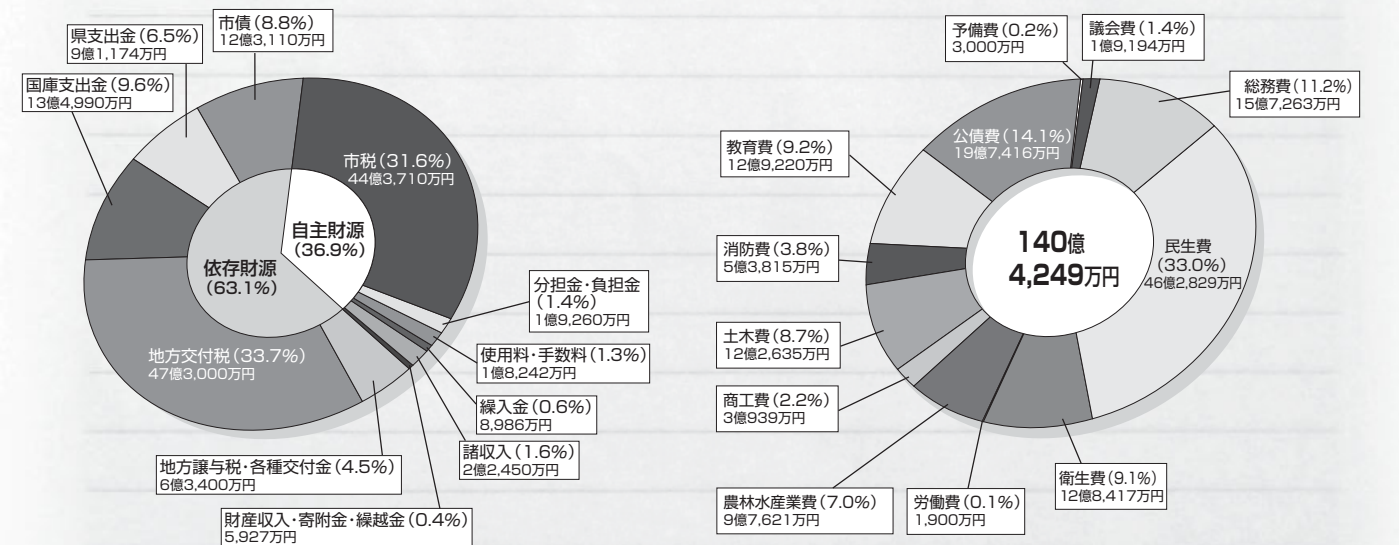


新たな飛躍と持続可能な財政構造の基盤づくり
横断的な緊急課題を戦略重点的に推進

予算の概要

瀬戸内市の明るい未来のために、持続可能な財政構造の構築を早期に実現できるよう財政の健全化を積極的に進めながら、戦略重点的に取り組む事業を選定し、限られた財源を重点的・効率的に配分することを基本方針として、予算を編成しました。

予算の規模は、一般会計予算が140億4,249万円（前年度当初比3.6%増）、特別会計（11会計）が104億4,865万円（前年度当初比12.3%減）、事業会計（2会計）が31億2,754万円（前年度当初比2.9%増）、全会計の総額は276億1,868万円（前年度当初比3.2%減）となりました。



歳入

一般会計の歳入のうち、市税は、企業の業績の伸び悩みなどからほぼ前年度並みの前年度と比べて0.7%（3,197万円）の増を見込んでいます。また、地方交付税は、国において特別枠の加算により増額確保されたことなどから前年度と比べて10.0%（4億3,000万円）の増を見込んでいます。

一方、市債は、地方財源の不足を補てんするために大幅な増額となった臨時財政対策債を前年度と比べて14.7%（1億900万円）の増と見込んでいますが、公債費負担適正化計画に基づき、市債の発行額を抑制したため、市債全体では前年度と比べて8.9%（1億2,030万円）の減となっています。

歳出

継続事業である市道南北線の新設や民間保育所の整備助成などを優先的に計上するとともに、子ども手当の創設や、高齢化の進展に伴い年々増加する医療費や介護経費の社会保障費などにも対応した予算となっています。さらに、戦略重点事業として、緊急かつ横断的な課題の解決に向けて重点的に取り組むよう市民活動応援事業やごみ30%減量啓発事業などを新たに計上しています。

こうした経費の財源を捻出するため、財政運営適正化計画などに沿って、財政の健全化に積極的に取り組んだ結果、財政調整基金を取り崩すことなく、財政収支の均衡を図ることができています。